

## 地方独立行政法人北九州市立病院機構 令和元年度計画

## 前文

令和元年度においては、政策医療を着実に実施しつつ、経営基盤の安定化に取り組むとともに、医療センターは「がん医療」、八幡病院は「小児医療」を中心とした市立病院のブランド力の向上を目指す。

また、地方独立行政法人化を契機とした役員及び職員のマインドセットの変革に向けて、目標管理の徹底や経営意識の向上等に取り組む。

## 第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

## 1 政策医療の着実な実施

## (1) 感染症医療

医療センターにおいて、市内で唯一の「第二種感染症指定医療機関」として、二類感染症や新型インフルエンザの受け入れに関して中核的な役割を担う。

## 【令和元年度の取組み】

- 二類感染症患者の長期入院等に備えた体制の整備
- 二類感染症に対応できる職員の育成
- 検査試薬や医薬品の十分な数量の供給体制の整備
- 関係機関との連携による対策等の実施に向けた検討
- 感染症医療の提供体制の適正化に向けた検討

## (2) 周産期医療

医療センターにおいて、「周産期母子医療センター」として、高度で専門的な医療を提供する。

## 【令和元年度の取組み】

- 周産期医療の提供体制の適正化に向けた検討

## (3) 小児救急を含む救急医療

八幡病院において、「救命救急センター」、「小児救急センター」としての役割を果たす。

## 【令和元年度の取組み】

- <施設・設備の整備等>
- 救急外来施設の充実等
- 小児科外来の充実

- 小児集中治療室（P I C U）・無菌室等の活用
- <院内体制の充実・強化>
- 救急科及び関連診療科の医師確保
- 人材育成を通じた救急受入れ体制の強化
- 救急医療に関する専門人材の雇用
  - ・救命救急士の採用
- 救急車応需率の向上

#### (4) 災害時における医療

ア 八幡病院において、北九州市地域防災計画や北九州市医師会医療救護計画に基づき、市及び北九州市医師会の指示の下、施設や設備面の機能を活かし、市内の「災害拠点病院」の統括病院としての役割を果たす。

##### 【令和元年度の取組み】

- 災害医療研修センターにおける人材育成
- 屋上ヘリポートの活用（広域からの患者受入れ）
- 災害時の迅速かつ十分な薬品供給体制の構築に向けた取組み
- DMOC訓練の継続的な実施

イ 医療センター、八幡病院において、「災害拠点病院」としての役割を果たす。

##### 【令和元年度の取組み】

- 災害時の適切な対応

ウ 災害時における医療提供については、病院自体が被災することも想定して対応策を準備する。

##### 【令和元年度の取組み】

- <医療センター>
- 国の基準に基づく非常用電源や備蓄資材の整備
- 業務継続計画（BCP）の適切な運用
- 災害に対する施設や設備のあり方の検討
- <八幡病院>
- 国の基準に基づく非常用電源や備蓄資材の確保
- 業務継続計画（BCP）の適切な運用

## 2 医療センター及び八幡病院の特色を活かした医療の充実

### (1) 医療センター

ア がん医療について、地域がん診療連携拠点病院として、集学的治療及び標準的治療等の提供体制の充実を図るとともに、がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等に

対応できる体制を整備し、高度で専門的な医療を提供する。

**【令和元年度の取組み】**

- がんゲノム中核拠点病院との連携体制等の構築
- がんゲノム医療を適切に提供する体制の整備
- 手術支援ロボットの導入の検討
- リニアックの積極的な活用
- 磁気共鳴コンピュータ断層装置の増設の検討

イ がん患者や家族の支援機能を充実させる。

**【令和元年度の取組み】**

- がん看護外来の充実
- 緩和ケアセンターの開設
- 薬剤師外来の開設
- 医師・看護師等によるチーム医療の充実
- がん相談支援センターの充実

ウ がん医療に関する地域医療機関との連携の強化に努める。

**【令和元年度の取組み】**

- 医療従事者の資質向上に向けた情報提供等
- がん医療における「連携ネット北九州」の活用促進
- 福岡県がん地域連携クリティカルパスの普及

エ その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療を提供する。

**【令和元年度の取組み】**

- 生活習慣病に対応するための体制強化に向けた検討
- 膠原病や甲状腺疾患に関する医療の提供
- 脊椎内視鏡手術等の脊椎手術の実施
- せん妄や認知症に対応するための体制強化
- 合併症や新生児疾患の対応等に関する医療の提供

## **(2) 八幡病院**

ア 小児医療について、「小児救急・小児総合医療センター」を中心に、診療機能の充実を図る。

**【令和元年度の取組み】**

- <施設・設備の整備等>
- 専門性の高い小児科医の確保
- 小児集中治療室（P I C U）・無菌室等の活用【再掲】
- 救急・集中治療等に係る専門医療の充実
- 在宅医療の支援

<院内体制の充実・強化>

○小児科専門医の人材育成を通じた診療機能の強化

イ 小児医療に関する障害者や家族に対する医療面での支援の充実に取り組む。

【令和元年度の取組み】

○小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業への参加

ウ その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療を提供する。

【令和元年度の取組み】

○消化器・肝臓病センターの積極的な活用に向けた検討

○心不全センターの積極的な活用に向けた検討

○ハイブリッド手術室の活用

・外傷急性期外科医療の提供

○外傷・形態修復・治療センターの積極的な活用に向けた検討

### 3 医療の質の確保

#### (1) 人材の確保・育成

ア 医療従事者の養成機関との連携を図りながら、柔軟で多様な職員採用により、医師をはじめとする優秀な医療スタッフの確保に努めるとともに、医療スタッフが長く働き続けることのできる職場環境の整備に努める。

【令和元年度の取組み】

<全職種>

○リクルート活動の強化

<医師>

○医師の負担軽減

・医師事務作業補助者の増員

○女性医師の就業環境の整備に向けた調査・研究

<看護師>

○看護業務に専念できる環境の整備

・看護補助者の確保に向けた取組みの強化

・事務作業サポート職の配置に向けた検討

○資格取得支援のあり方の検討

○柔軟な勤務体制の調査・研究

<医療技術職>

○経験者を含めた多様な職種の人材確保

○学会発表等の参加機会確保

・資格取得の奨励、支援制度の構築に向けた調査・研究

<事務職員>

- プロパー化の推進
- 医療マネジメントができる事務職員の育成
  - ・院内教育体系の構築に向けた調査・研究
- 事務職員の総合力の強化
  - ・育成方針、異動方針の作成に向けた調査・研究

イ 特に、医師の確保にあたっては、大学医局との連携強化、臨床研修の充実に努める。

**【令和元年度の取組み】**

- 関係大学との連携強化の仕組みづくり
- 臨床研修プログラムや専門研修プログラムの充実
- 病院の将来を担う医師の育成

ウ 医療スタッフの専門性や医療技術向上のため、各専門分野における医療スタッフの資格取得を支援する制度の充実に努めるとともに、先進的な事例や取組みを習得できる教育研修制度を充実させる。

**【令和元年度の取組み】**

- 医師を含む医療スタッフの資格取得を支援する制度の構築に向けた調査・研究
- 教育研修制度の構築に向けた調査・研究

＜医療センター＞

- ・習熟レベルに応じた研修プログラムの検討
- ・看護師に対する教育担当者の配置
- ・研修体系の一元管理の整備
- ・がん看護に特化した専門看護師の育成
- ・特定行為研修を修了した認定看護師の育成

＜八幡病院＞

- ・慢性心不全看護の認定看護師資格の取得に向けた取組み
- ・感染管理の認定看護師資格の取得者の増員に向けた取組み
- ・皮膚・排泄ケアの認定看護師資格の取得者の増員に向けた取組み
- ・看護師の経験年数別等の研修の実施

**(2) 医療の質の確保、向上**

ア 医療の多様化・複雑化に対応するため、医療スタッフが診療科や職域を越えて連携できる「チーム医療」の推進に取り組む。

**【令和元年度の取組み】**

- 早期離床・リハビリテーションの実施
- 重点診療領域のセンター化に向けた協議

イ 良質な医療を効率的に提供するため、クリニカルパスの活用等による医療の標準化に取り組む。

【令和元年度の取組み】

- パス件数、パス適用率の向上
- パスの積極的な活用のための仕組みづくり

ウ 医療需要の変化や医療の高度化に的確に対応するため、法人の経営状況を踏まえつつ、高度な医療機器の整備・更新等を計画的に進める。

【令和元年度の取組み】

<医療センター>

- リニアックの積極的な活用【再掲】
- 手術支援ロボットの導入の検討【再掲】
- 磁気共鳴コンピュータ断層装置の増設の検討【再掲】

<八幡病院>

- ハイブリッド手術室の活用【再掲】
- 小児集中治療室（P I C U）・無菌室等の活用【再掲】

エ その他、医療の質の確保、向上に向けて、病院機能評価等の第三者機関による評価制度を積極的に活用するとともに、クリニカルインディケータ（臨床評価指標）等の分析・評価の活用に取り組む。

【令和元年度の取組み】

<医療センター>

- 第三者機関による評価制度の活用
- クリニカルインディケータの活用に向けた検討
- 国際規格 I S O 1 5 1 8 9 の認定に向けた取組み

<八幡病院>

- 第三者機関による評価制度導入に向けた検討

### (3) 医療安全の徹底

安全で安心な医療を提供するため、医療事故や院内感染など医療の安全を脅かす事象に関する情報収集・分析を行い、適切な予防策を講じる。

【令和元年度の取組み】

- 院内ラウンドや医療安全研修会等の実施
- インシデント・アクシデントレポートの分析
- 国内外における感染情報の収集
- 地域医療従事者への教育・研修等の実施
  - ・地域感染対策研修センターの開設に向けた取組み
- 機構全体の危機管理体制の構築

### (4) 医療に関する調査・研究

高度で先進的な医療の提供に向けて、医療に関する調査・研究に積極的に取り組む。

【令和元年度の取組み】

- 治験・研究医療の推進
- 治験等の推進に向けた体制整備

#### 4 市民・地域医療機関からの信頼の確保

##### (1) 患者サービスの向上

###### ア 患者目線での病院運営の徹底

市民から信頼される病院を目指して、患者や家族のニーズを的確に把握するとともに、職員が患者満足度調査等の情報を共有し、病院全体で患者満足度の向上に努める。

###### 【令和元年度の取組み】

- ＜患者ニーズの把握＞
  - 患者満足度調査手法の抜本的な見直しに向けた検討
- ＜患者サービスの改善＞
  - 接遇研修の抜本的な見直しに向けた検討
  - 患者に寄り添う新たな看護方式の検討・試行
  - 受付・診察の待ち時間の短縮に向けた取組み
- ＜新たな患者サービスの検討＞
  - ボランティアの導入に向けた検討
  - 外国人患者の受入れに向けた検討

###### イ 快適な院内環境の整備

院内環境の改善により、院内体制の充実・強化や施設・設備の整備等により、患者や家族の快適性や利便性の向上に取り組む。

###### 【令和元年度の取組み】

- ＜院内体制の充実・強化＞
  - 消化器センターの開設に向けた検討
  - 女性専用病棟の開設
  - 入退院センターの体制強化
- ＜施設・設備の整備等＞
  - 中庭やファミリールームの活用
  - 自動精算機や診察待ち順番表示設備の導入に向けた取組み

###### ウ 患者や市民への情報提供

診療内容や治療実績等の情報発信に積極的に取り組むとともに、市民の健康増進に向けた取組みを進める。

###### 【令和元年度の取組み】

- 診療内容や治療実績等の情報発信
- ホームページの見直し
- 各種PRツールの整備

- ソーシャルメディアの活用に向けた取組み
- 市民向け健康講座等の充実

## (2) 地域医療機関等との連携

ア 地域医療機関のニーズと役割を把握し、地域医療機関に信頼される病院を目指す。

### 【令和元年度の取組み】

- 地域医療機関へのヒアリングやアンケートの実施
- 医療連携室の機能強化
- 紹介率・逆紹介率の向上
- 近隣病院との機能分化・役割分担に向けた検討

イ 地域医療支援病院として求められる役割を着実に果たす。

### 【令和元年度の取組み】

- 医療機器の共同利用等の実績の向上
- かかりつけ医等に対する支援
- 「連携ネット北九州」の活用促進【再掲】
- 地域連携クリティカルパスの普及
- 福岡県がん地域連携クリティカルパスの普及【再掲】
- 地域連携会を中心とした情報交換体制の充実

ウ 市立病院が一つの病院事業体として、効率的・効果的な病院運営を行うため、医療センターと八幡病院の機能分化や連携を推進する。

### 【令和元年度の取組み】

- 医師を含めた多職種における人事交流の推進
- 相互の専門分野における優先的な患者の紹介
- 高度医療機器の共同利用に向けた取組み
- 診療・検査等における医療提供機能の相互支援
- TV会議システムの導入・活用
- 電子カルテの共通化に向けた検討

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 収入増加・確保対策

#### (1) 病床利用率の向上

政策医療等に関する病床を除く一般病床については、法人全体の営業収支及び経常収支の黒字化を前提とした病床利用率の数値目標を設定し、その目標達成に向けて各病院全体で取り組む。